～さわやかな

笑顔

みどり学年～



明石市立二見中学校
71 回生
第 3 学年　学年通信
平成 30(2018)年 9 月 20 日（木）
ＮＯ．142

体育大会を終えて　～その壱～

○　今回の体育大会は、僕たち 3 年生にとっては中学校生活で最後でした。最後だからこそ、皆で思い出に残るものにしたいと思っていました。体育大会を終えてからは、終わってしまったことの寂しさと、やり切れたという達成感があり、そう感じられたことはとてもよかったと思います。練習の時は、台風や大雨の影響で、思うような練習はできませんでした。でも、1、2 年生の時から言われていた、最初から本気でやらない、ということもなく、真剣に練習に取り組めました。それは、体育委員を中心に良いものにしようという気持ちがあったからだと思います。そこに関しては成長した点です。体育大会当日は、できたら晴れて体育大会日和で行いたかったけど、天候も少し悪い中行いました。でも、天気がもってくれてよかったです。リレーや綱引きの得点競技は、よい結果が残せなかったけど、全員楽しくできたと思います。マスゲームは、本当の最後の演技で、体育大会の締めくくりでした。楽しく本気でやり切ろうと思っていたので、とても満足のいくものにできました。最後の体育大会は、本当に良い思い出になりました。（4 組　男子）



○　私が 3 年間最後の体育大会を終えて思い出に残ったことは、マスゲームです。なぜなら、この 3 年間で一番いいものをつくることができました。私はダンスリーダーに初めてなって、夏休み 4 日間しかなくて、その中で一生懸命覚えることができました。覚えたりすることが苦手で、なかなかついていけなかったり、すぐ忘れてしまったりすることもあったけど、家で誰もいないときに、自主的に練習をしていました。全くダンス経験がなかった私は、「皆に上手に教えることができない」と思っていました。2 学期が始まって、本格的に体育大会の練習が始まって、クラス練習もあって、グループに分かれて練習をしました。私のダンスでは、よく分からないのかなと思っていたけど、周りのダンスリーダーが助けてくれたので、予行では自信がついた踊りができました。更に、体育大会本番では、予行の時にはなかった大きな自信もついて、お母さんも見ていたなかで、体育大会の締めくくりとして、精一杯ダンスを踊ることができました。これは、皆の支えがあってできたことなので、いい演技ができて、最高のものになりました。このことを受験などにしっかりいかしていけたらいいと思いました。（6 組　女子）





○　今年の体育大会は、中学校生活最後なので、良くても悪くてもしっかり全力でやり切ろうと思ってて、実際内容も良く、何個か賞をもらえたので良かったです。まず、種目の中で一番配点の高い綱引きを、優勝して 20 点もらえたところがとても大きかったと思います。5 組は一度も負けず、判定勝利もなしで、すべて 1 分以内に勝ってストレートだったので、やってる側もとても気持ち良かったです。次に、総合 3 位です。なんと、4 位との差は 1 点差、2 位との差も 1 点差で、1 位との差も 3 点しか変わらないという、超接戦でした。あと 1 点で 2 位やったのに、という悔しさもあるけど、一応入賞できたので、総合入賞して、綱引きも優勝したクラスとして、それに見合った行動が、これからの学校生活で送れるようにしたいなと思いました。（5 組　男子）



○　今年の体育大会では、初めて優勝を味わうことができました。今まで、1 年生、2 年生のクラスでの体育大会では、どの競技も良い結果にならず、本当に悔しかったし、3 年生では優勝したいという気持ちが強かったです。クラスの役に少しでも立てればいいなと思って、行進も最後まで手を抜かなかったし、リレーも前の走者が 2 位との差をとても広げてバトンをわたしてくれたので嬉しかったし、自分も 1 位で走りきるというプレッシャーもありました。無事リレーでは 1 位になれて、役に立てて嬉しかったです。応援も、できるだけ大きな声を出して走っている人に届くように頑張りました。朝、学校に行ったら、黒板に委員長と体育委員と生徒会長からのメッセージが書いてあって、その人達のためにも、絶対に勝たなければいけないと思いました。1 組をうまくまとめてくれた、委員会のリーダーの人に感謝です。自分には、絶対にできないことをしてくれていたので、とてもありがたいです。次の文化祭も、必ず金賞をとれるように、協力しながら頑張りたいです。（1 組　女子）



